MICSIG 光アイソレーション差動プローブの アッテネーター先端のコネクタ交換について

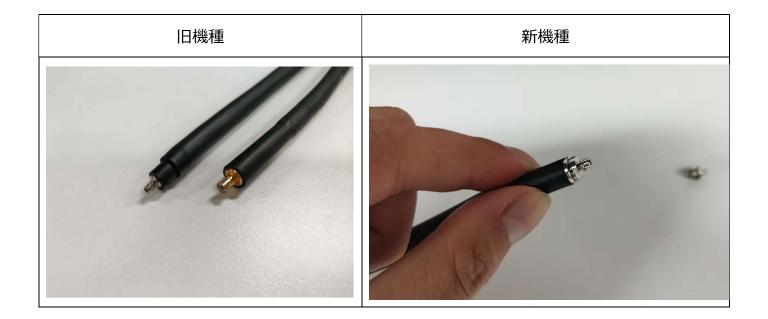
1、交換可能アッテネーター一覧

Model	MOIP100P	MOIP200P	MOIP350P	MOIP500P	MOIP800P	MOIP1000P
お客様ご自身でコネクタを交換可能	OP20-3 (MMCX) OP20-5 (MMCX)		OP20-3 (MMCX) OP50-3 (MMCX) OP200-3 (MCX)	OP20-5 (MMCX) OP50-5 (MMCX) OP100-5 (MMCX)	OP20-1 (MMCX) OP50-1 (MMCX) OP100-1 (MMCX)	
お客様ご自身でコネクタを交換不可(メーカー交換対応可能)	OP1000-3 (MCX) OP2000-3 (MCX) OP5000-3 (LCX)		OP1000-3 (MCX) OP2000-3 (MCX) OP5000-3 (LCX)	OP2000-5 (MCX) OP5000-5 (MCX) OP10000-5 (LCX)	OP2000-1 (MCX) OP5000-1 (MCX) OP10000-1 (LCX)	

2.アッテネーター先端のコネクタ交換を判断できる基準について

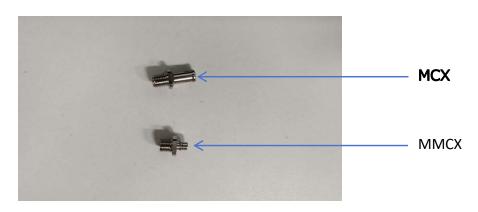
- (1) 前端インターフェースに明らかな摩耗や変形が見られる場合、交換をご検討ください。
- (2) 衰減器の前端と MCX / MMCX メスコネクタを接続した際に、明らかなぐらつきや異常があり、測定結果に影響が出る場合は交換を推奨いたします。
- (3) 同じ衰減器を長期間使用しており、あるタイミングで測定信号に異常が確認された場合は、前端インターフェースを交換したうえで再度測定を行い、改善を確認することをお勧めします。

3.新旧機種の違い



4.アッテネーター先端のコネクタ交換手順について

前端コネクタには MCX と MMCX の2種類があります。



(上:MCX、下:MMCX)

▲ 注意事項

OP500-X 以下のモデル(OP20-X〈MMCX〉、OP50-X〈MMCX〉、OP200-X 〈MCX〉)はユーザーによる交換が可能です。

前端部が破損または異常な場合は、自分で交換して問題ありません。

・ OP500-X 以上のモデル(OP1000-X〈MCX〉、OP2000-X〈MCX〉)は交換後の動作確認が必要です。自己交換は推奨されず、修理依頼後に使用してください。

MMCX コネクタの交換手順(例)

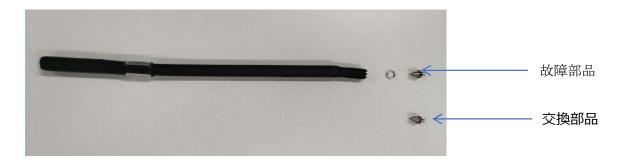
1、交換用アッテネーター本体と新しい MMCX コネクタを用意します。

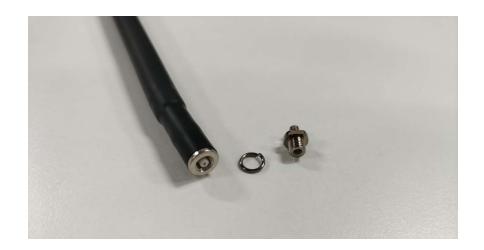


2、減衰器前端を手で固定し、ペンチなどの工具でコネクタを回して緩めます。

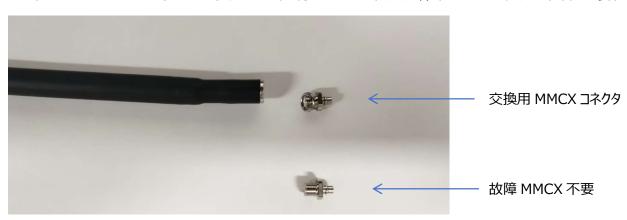


3、コネクタを完全に回して取り外すと、下記のような構成になります: (絶縁リング端子+MMCX コネクタ)





4、新しい MMCX コネクタを使用し、絶縁リングを中央に配置して減衰器本体に接続します。



5、回してしっかり装着し、ペンチなどで締め付けて隙間がなく動かない状態にします。



二、MCX コネクタの交換手順

1、交換用アッテネーター本体と新しい MCX コネクタを用意します。



2、減衰器前端を手で固定し、ペンチなどでコネクタを回して緩めます。



3、コネクタを完全に回して取り外すと、下記のような構成になります:

(絶縁リング端子 + MCX コネクタ)





4、新しい MCX コネクタを使用し、絶縁リングを中央に配置して減衰器本体に接続します。



5、回してしっかり装着し、ペンチなどで締め付けて隙間がなく動かない状態にします。

